

風景を愛でる 日下部一司展

会期 2023年 1月28日(日)-2月26日(日)

会場 美術工芸展示室

観覧無料

関西を拠点に活躍する岐阜県出身の美術家・日下部一司(1953年〜)は、日常の風景を独特な視点で捉えて撮影した写真を、古い彩色法によって仕上げる作品制作に取り組んでいます。今回、美濃加茂市内を歩いて撮影した新作を含め、約100点の作品を展覧いたします。



重力を量る 73×54mm
ゼラチンシルバープリントに彩色 2022

forum & event

アーティストトーク

- ◆日時: 2月12日(日) 13:30-15:00
- ◆会場: 研修室、美術工芸展示室
- ◆参加料: 無料
- ◆申込方法: 当日受付

墨痕に咲う

—美濃の禅画の世界 白隠と仙厓と—
(早稲田会場)

11月18日(金)-12月18日(日)

報告

2022年度早稲田大学・美濃加茂市文化交流事業の共催展として、2022年11月18日(金)〜12月18日(日)まで、美濃加茂会場より先に早稲田大学歴史館で開催されました。



早稲田大学歴史館での展示風景

SHOP NEWS 刊行物の紹介

商品価格は税込です。



「My Space and My Dimension
船坂芳助 ドローイング・コラージュ展」
B5判 P51 1,300円

文化の森に新しいカフェが OPEN しました!!



TEL 080-6372-1184



看板商品は米粉のガレット。
ランチはプレートランチ①・ガレットランチ②の2種。モーニング、ランチ、ティータイムとメニューが変わります。ティータイムはスイーツガレット③もあります。文化の森の景観を眺めながらゆっくりとカフェを楽しんでください。

Instagram Follow Me!



minokamo_bunkanomori_official

展覧会情報のほか、風景・アート・収蔵資料など、みのかも文化の森の魅力を発信していきます。

Webでも楽しもう!文化の森

【ふらりと展示室】

美濃加茂市民ミュージアムにある常設展示室をWEB上で見られます。気軽に「ふらり」と立ち寄り、気の向くままにページを開いてみてください。そして、何かここで感じたことがあれば、それを確かめるにこの展示室や現地を訪れてみてはいかがでしょうか…

文化の森HP <http://www.forest.minokamo.gifu.jp/>
→ふらりと展示室

【美濃加茂事典】

美濃加茂地域を中心とすることがらを事典形式で解説。

文化の森HP <http://www.forest.minokamo.gifu.jp/>
→データベース→美濃加茂事典

■ご利用のご案内

開館時間 9:00~17:00
(ただし、施設の貸出し利用は8:30~22:00まで)

休館日 月曜日
(ただし、祝日の場合は開館し、直後の平日休館)
年末年始

【1・2・3月の休館日】
12月29日~1月3日、10日、16日、23日、30日
2月6日、13日、20日、27日
3月6日、13日、20日、27日

■交通

- 鉄道 JR名古屋駅から美濃太田駅まで東海道本線・高山本線経由、特急「ひだ」で約40分、美濃太田駅北口から徒歩約17分
- 自動車 東海環状自動車道美濃加茂ICから約5分
- あい愛バス JR美濃太田駅北口より乗車、「文化の森」下車(乗車時間約10分)
※時刻表など詳しくは、あい愛バスのホームページをご覧ください。
<https://ai-ai-bus.com/>



行き	文化の森着	帰	文化の森発	美濃太田駅北口発
9:08	9:18	9:59	10:10	
10:48	10:58	11:39	11:50	
13:33	13:43	14:24	14:35	
15:15	15:25	16:06	16:17	

運賃 / 一般 100円 中学生以下無料

みのかも文化の森
美濃加茂市民ミュージアム
MINOKAMO CITY MUSEUM
<http://www.forest.minokamo.gifu.jp/>

〒505-0004
岐阜県美濃加茂市
蜂屋町上蜂屋3299-1
TEL: 0574-28-1110
FAX: 0574-28-1104



森が大切にしているもの

09

開館以来、ずっとある光景です。見慣れたエントランスホールですが、正面入り口から入った時に飛び込んでくる、ガラス越しの森の光景は気持ちをほっとさせます。ここに漂う空気は、この建物でおこなわれる自由でさまざまな活動につながっています。



「エントランスホールの空間」

Bunkanomori Special exhibition!

2022年度 早稲田大学・美濃加茂市文化交流事業 共催展

墨痕に咲う

美濃の禅画の世界 白隠と仙厓と



仙厓義梵「蛭子和尚図」(けんすおしょうず) 早稲田大学會津八一記念博物館蔵



白隠慧鶴「白澤図」(はくたくず) [岐阜県重要文化財] 大龍寺(岐阜市)蔵

会期 2023. 1/8(日) ▶ 2/19(日)

会期中の休館日 1月10日(火)、16日(月)、23日(月)、30日(月)
2月6日(月)、13日(月)

会場 企画展示室

観覧料 一般 200円 かるちすとくらぶ会員及び高校生以下は無料

人の咲うを愛す——。美濃国出身の仙厓義梵(1750-1837)は自らの絵をこう称し、自由で柔らかな筆致で、見る者の頬が思わず緩んでしまうような作品を残しました。

早稲田大学會津八一記念博物館には、近世の数多くの「禅画」が所蔵されています。一方、美濃は仙厓をはじめ、白隠慧鶴、雪潭紹瑠など書画をよくした禅僧とゆかりが深く、美濃加茂市や周辺にはその墨画・墨蹟が各地に伝わり、足跡がのこります。この展覧会では、禅僧たちの生涯と思想をひもときながら、独創的な絵が生まれたその意図に迫ります。今も変わらぬ祈りの奥深さや墨と人との交わりを感じていただきます。

主催 早稲田大学文化推進部文化企画課、美濃加茂市民ミュージアム
協力 早稲田大学會津八一記念博物館

forum & event

トークイベント	日時	会場	内容
「禅画の魅力」	1月22日(日) 14:00-15:00	緑のホール	近世の禅僧が描いた独創的な表現で知られる「禅画」。なかでもとりわけ注目される白隠慧鶴と仙厓義梵の作品について、その魅力をお話いただきます。 ■講師: 柿澤 香穂氏(早稲田大学會津八一記念博物館 学芸員) ■参加無料 ■当日受付(30分前から受付)
現地ツアー 「白隠の足跡をたどって」	2月5日(日) 13:30-15:30	山之上町内	座禅したと伝えられる岩など白隠ゆかりの山之上町の遺跡を歩いてめぐります。 ■定員: 15名 ■参加無料 ■要事前申し込み 12月15日(木)~1月13日(金) *応募者多数の場合は抽選
四季を食べる講座 「禅を食す」	2月10日(金) 10:30-13:00	生活体験館	禅寺で食べられているお粥を作り、白隠の修行に思いを馳せます。 ■定員: 10名 ■参加料: 500円 ■要事前申し込み 12月16日(金)~1月13日(金) *応募者多数の場合は抽選
子ども向け講座 「紙と墨で楽しむ」	1月28日(土) 13:30-15:30	工芸室	実際の和紙と墨を使って、墨絵を描いてみましょう。 *汚れてもよい服装で ■定員: 20名 ■参加料: 500円 ■対象: 年長から中学生まで ■要事前申し込み 12月3日(土)~12月18日(日) *応募者多数の場合は抽選
絵解き講座 「あなたにもわかる禅画」	1月18日(水) 2月4日(土)	企画展示室	担当学芸員が展示室をご案内します。2日とも①10:00-11:00 ②13:30-14:30 ■参加無料(ただし企画展入場券が必要です)

イベント

minokamo city museum



●日時	●名称	●内容	●会場	●参加料	●定員
~3/12(日)	ていねいな暮らしと道具展	暮らしの移り変わりや暮らしぶりを知り、忘れてはならないものを次の世代に伝えていける機会となれば幸いです。	民具展示館	無料	—
12/17(土) 14:00-15:00	第223回 森の朗読会	市民による朗読です。 作品:「草之丞の話」 江國香織 / 作 「アグニの神」 芥川龍之介 / 作	緑のホール	無料	75名
12/27(火) ~1/15(日)	収藏品展 日本の版画	美濃加茂市民ミュージアムの収藏品の中から版画作品を展覧します。	美術工芸展示室	無料	—
1/21(土) 14:00-15:00	第224回 森の朗読会	市民による朗読です。 作品:「長兄、威張る?」 群ようこ / 作	緑のホール	無料	75名
2/18(土) 14:00-15:00	第225回 森の朗読会	市民による朗読です。 作品:「バレンタイン・デビュー」 重松 清 / 作 「牡丹柄の灯笼」 松田青子 / 作	緑のホール	無料	75名
3/18(土) 14:00-15:00	第226回 森の朗読会	市民による朗読です。 作品:「本所おけら長屋・その式 かんおけ」 畠山健二 / 作	緑のホール	無料	75名

四季を食べる講座



●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
1/21(土) 10:30-13:00	手作りみそ	手作りのみその味を知ったら、もお、市販のみそにはもどれなくなるかも...? 美濃加茂伝承料理の会が講師をします。 持ち物:エプロン、三角巾	要 事前申し込み 【12/3(土)~12/17(土)】	生活体験館 「まゆの家」 (受付も)	500円	10名

アートな1日講座



●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
3/19(日) ①13:00-14:30 ②15:00-16:30	陶芸でつくる食器	手びねりの技法またはろくろで簡単な器をつくります。出来上がった作品は、後日お渡しします。(送付は有料) 持ち物:エプロン、タオル	要 事前申し込み 【1/14(火)~2/26(日)】	陶芸室	1,000円	各回 8名

ていねいな暮らし講座



●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
3/9(木) 9:30-12:00	春を染める	春の草木で絹布を染めます。 持ち物:エプロン、ぞうきん、ビニール袋、ゴム手袋	要 事前申し込み 【1/14(火)~2/4(土)】	生活体験館 「まゆの家」	1,500円	12名

まゆの家

年中行事

自由観覧

門松立て	~1/6(金)	かつてこのあたりでみられた簡素な門松を立てます。
ひなかざり	2/4(土)~4/2(日)	ひな人形、武者人形、動物など土びなを飾ります。



ミュージアムレポート

「ハコ展」のこと



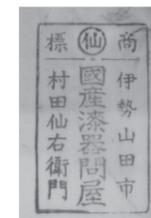
今年の7月16日から8月28日にかけて、当館では「ハコ展~箱膳から「ハコモノ」まで」を開催しました。この展覧会では、収藏品を中心に私たちの身の回りにある様々なハコを紹介しました。また、来館者の方から思い出の詰まったハコを募集したほか、「ハコモノ」と呼ばれる博物館において、これからのミュージアム像について思いを馳せていただくことも目指しました。

ハコ展で展示のメインとなった箱膳は、明治から昭和にかけて食事に使われた箱型の膳です。広く一般家庭で使われますが、ちゃぶ台の普及とともに姿を消していきます。そんな箱膳ですが、本体を裏返してみると商標印が押してあるものに出会うことがあります。準備のため見せてもらった箱膳の裏には「伊勢山田河崎町 国産漆器問屋 村田仙右衛門」の印がありました。「美濃加茂市周辺で使われていた箱膳に、なぜ伊勢の印があるのだろう」そんな素朴な疑問から箱膳の調査はスタートしました。

調査では、愛知県の一宮市、名古屋市、御嵩町、恵那市などいろいろな地域に伺いました。どの地域にも箱膳があり、「伊勢山田市」「伊勢山田市河崎町」などの商標印が押されたものも残されていました。調査や書籍の情報から、明治から昭和の初めごろ、ちょうど箱膳が使われていた時期、三重県伊勢市河崎町では伊勢春慶と呼ばれる漆器の生産が最盛期で、伊勢から全国へ大量に流通していたことがわかりました。



箱膳



箱膳商標

この箱膳が作られた場所を見てみたい。そんな思いが強まり、6月末に伊勢を訪れることになりました。

戦後に衰退した伊勢春慶は平成になって再興され、現在では伊勢市河崎の伊勢春慶デザイン工房で展示・販売されています。工房で作られた伊勢春慶はびかびかの赤く透明な漆が塗られ、美しい雰囲気がありました。

現代の伊勢春慶を目にしたとき、思い出したのは美濃加茂にある古い箱膳の色や使いこまれた痕跡でした。それらはあの箱膳がたどってきた時間や、使っていた人の存在をありあり感じさせるもので、誰かの暮らしの中で使われていたモノたちの持つ不思議な存在感に気づかされた調査となりました。

箱膳などの民具は一見ただのどこにでもありそうな古い道具ですが、使っていた人の暮らしや、その人が道具に込めた思いまで皆様にお伝えすることができたら...そんな思いから、ハコ展ではかつての持ち主の暮らしが想像できるようなハコや、ちょっとした工夫がみられるハコを多く展示させていただきました。

ハコ展では約一か月間の会期中にたくさんの来館者の方をお迎えすることができました。

箱膳を見て「懐かしい。祖母が使っていました」と話す方や、お孫様に展示されている道具の説明をされる方、一度では全部見るができなかったと何度も足を運んでくださる方もいたと聞き、皆様がハコ展を楽しんでくださったことをうれしく思います。

また、ハコ展では来館者の方が大切にしている箱をエピソードとともに展示しました。それぞれのエピソードにハコへの思い出がぎっしり詰まっていて、ハコと一緒に見ることを持ち主の方の気持ちに触れることができます。訪れた方からは「とても楽しいコーナーだった。全部読んじゃう」といった話も聞きました。

ハコ展では形のあるハコから姿を持たないハコまで、ありとあらゆるハコをご紹介いたしました。私たちの身の回りにありふれたハコですが、改めてゆっくりと見ていただくことで、過去の誰かに共感したり、普段の生活に目を向けたりと、皆様の暮らしに少し彩りを添えるきっかけとなればと思います。(Y.F)



伊勢河崎商人館



勢田川

事前申し込みについて

電話、FAXによる受付は行いません。右記のいずれかの方法でお申し込みください。

- 文化の森ホームページ講座専用申込フォーム
こちらのQRコードからもお申し込みできます。→
- はがき(住所、氏名、電話番号、希望講座を記入)
- ご来館

※応募者多数の場合は抽選となります。抽選結果は郵送にてお知らせいたします。



講座にお申し込みいただいた個人情報は、以下の項目のみに使用します。
1. お申し込みに関する問合せ
2. 講座開催に関する連絡
3. 抽選結果の通知

※イベントや講座について、今後の予定や定員が変更になる場合がありますので、文化の森ホームページでご確認いただくか、電話でお問い合わせください。
※施設を利用される方は、手指消毒、マスク着用をお願いします。